

上下水道事務所にある応急給水用のタンク。緊急時には車で運び、飲料水を供給します。



上下水道課
☎66-2929・3330

災害への備えは万全ですか

大地震は、電気や水道、ガス、通信など、わたしたちのライフラインに大きな損害を与えます。

旧用の器具機材の備蓄や近隣市町村との協力体制の強化など、災害時における水の確保に取り組んでいます。

昨年の新潟県中越地震や平成七年の阪神淡路大震災でも、飲料水や生活水の確保は大きな問題となりました。しかし、大震災による水道管の被害は防ぎようがないのが実状です。

地震直後に何よりも役立つのがくみ置きした水です。家庭での水の備蓄は、地震災害の備えとなるばかりか、火災での初期消火にも大いに役立ちます。災害はいつ起きるか分かりません。日ごろの備えについて、改めて考えてみませんか。

このため、町は被害の早期発見・復旧に努めるほか、応急復

旧用の器具機材の備蓄や近隣市町村との協力体制の強化など、災害時における水の確保に取り組んでいます。

貯水のポイント



◆飲用水の確保

生命を維持するために使う水の量（飲用や煮炊き用）は、1人1日3リットルといわれています。貯水は最低3日分の確保が理想です。

◆生活水の確保

清潔を保つための生活水も必要です。衛生面や洗い物などを考慮して、各家庭の状態に合わせて貯水しましょう。

◆貯水はポリタンクが便利

水道水は直射日光を避けると、3日程度飲用水として使用できます。ポリタンクなどに貯水し、定期的にくみ替えてください。くみ替えた水は掃除や洗濯などに利用しましょう。

◆風呂の残り湯は貴重な水

断水時には、水洗トイレや生活用水として利用できます。また、火災の時は初期消火にも役立ちます。

プロ野球講演会

NHK大リーグ野球解説者 **高橋直樹氏**
元西武ライオンズ、読売ジャイアンツの投手として活躍



日時 6月19日(日) 午後3時から

場所 ふれあい宿舎グリーンテージ

内容 講演会「大リーグと日本のプロ野球について」

講演会は入場無料。午後4時から、高橋直樹氏を囲んでの懇親会を行います。会費(飲食代)は1人5,000円。

(サイン会、記念写真撮影などもあります)

問い合わせ先 ふれあい宿舎グリーンテージ
(☎66-3000・FAX 66-3011)

くずまき高原牧場まつり

6月11日(土)~12日(日)
10:00~16:00

主なイベント

- 焼き肉無料食べ放題(2日間12:00~14:00)
- よさこいソーランの踊り、太鼓、吹奏楽、歌謡・民謡ショーなどのステージ
- 乳しぼり体験、羊毛刈り体験、ちびっこ宝探し、風船パフォーマンス
- 地元自治会や各種団体の展示即売コーナー

問い合わせ先 くずまき交流館プラトール
(☎66-0555)